

## ごあいさつ

後援会会長 川田毅(4D)

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
後援会では、会員の皆様のお力と、会員の皆様からお預かりした会費により、学業や課外活動などに頑張る学生と学校を、直接または間接的に、多方面から支援しています。  
第32号東京高専後援会だよりとして、現在の活動状況などについてご報告いたします。

## 2022年度事業・各学科支援5か年計画の状況報告

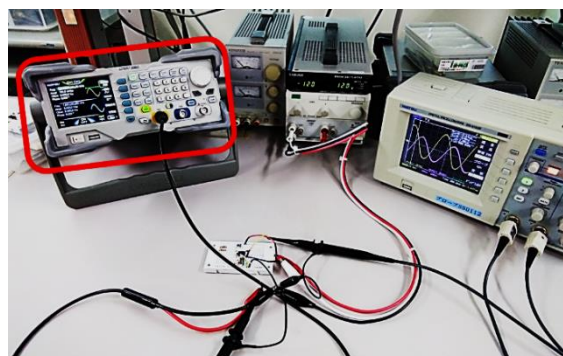
2022年度予算にて、コロナ禍で学生へ支援する機会が減ったことにより、支出されずに残ってしまった後援会会費の効果的な支出先として、各学科にまとまった金額(500万円ずつ)を支援することにしました。各学科、2022年度内での支出は難しいだろうとの判断から、2022年度～2026年度の5年以内に使っていただくという計画となっています。  
2022年度はE科(電気工事士試験用工具セット等)、C科(液体窒素製造装置)を導入しています。詳しくは、後援会だより31号をご確認ください。

### ● 2023年度実施状況報告

#### ● 電子工学科

特別予算によってファンクションジェネレータ50台を購入し実験実習で活用しています。

電子工学科では、実験実習に必要な基本的な計測機器を1人1セット用意して学生全員が同時に同じ実験を実施できる一斉実験方式でずっと教育してきました。近年、機材の中で特に発振器は接触不良が多発し、買い替えを模索していました。このたび、貴重な後援会の予算を使用させて頂き発振器の後継としてファンクションジェネレータを50台購入し、実験実習に導入致しました。この機材は主に低電圧の交流電気信号を発生する電源装置ですので、低学年の基礎的な電気回路実習をはじめ、専



ファンクションジェネレータを利用して電子回路の周波数特性を測定する実験(囲まれている部分がファンクションジェネレータ)

門的な電子回路実習には必要不可欠な装置となっており全学年の学生が利用します。従来の発振器に比べ、様々な電気信号波形を発生できるため利用価値が高まり、これから新しい実験テーマも導入できると期待されます。写真は3年生の電子回路実習に導入したところであり、使用方法を初めて学んだ学生の様子です。一斉実験として活用していますので、このようにまとまった台数を導入できたことに感謝申し上げます。後援会の皆様、ありがとうございました。

(寄稿:電子工学科 一戸学科長)



左:1人1セットの機材を用いて実施する一斉実験の様子



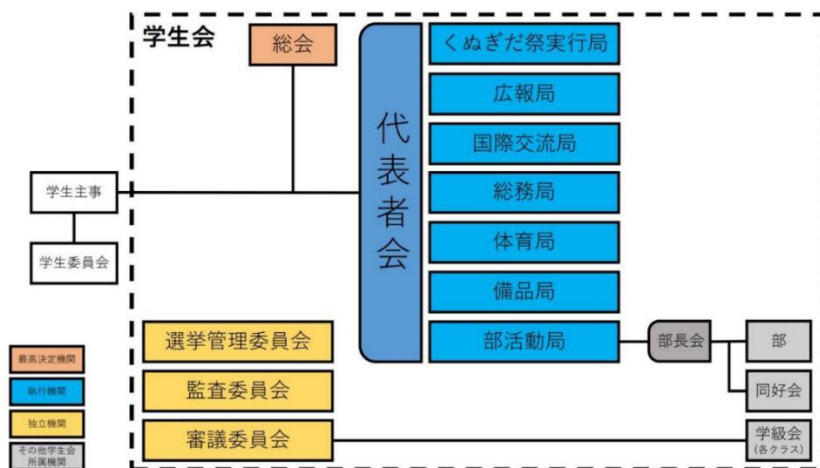
右:ファンクションジェネレータで周波数を設定する様子

## 学生会の紹介

本年度、学生会の組織・体制の改編がありました。

学生会総務局の田代君(4C)から、変更内容についての説明を寄稿頂きましたので、紹介します。

こんにちは。学生会総務局長の田代と申します。現在の学生会組織は図のような体制で運営しています。



学生会組織は役割によっていくつかの局に分かれ、それぞれ仕事をしています。また、各局長が集まり、それぞれ情報共有をしたり連携を取り合ったりする代表者会もあります。

今年度のくぬぎだ祭は、くぬぎだ祭実行局の活動が実を結び、飲食模擬店の出店や後夜祭ライブでの声出し許可などコロナ前同様の規模で開催することができました。くぬぎだ祭をはじめ、高専間での交流会など、学生会全体で年々活動を活発にできつつあります。ぜひ、今後とも学生会へのご支援、応援をよろしくお願いいたします。

## 後援会から支援を受けた部活・ゼミ・紹介

### ● 吹奏楽部

部長 内海優汰(3E)

吹奏楽部長の内海優汰と申します。

いつも後援会の皆さまより吹奏楽部の活動にご理解とご協力、そして楽器の修理代や楽器のお手入れ用品代、楽譜代、楽器輸送費、文化発表会の宿泊費と交通費の補助の他、多数のご支援を賜り誠にありがとうございます。

コロナ禍も明け、今年度吹奏楽部では多様な場面で演奏を行ってまいりました。

- ・7月 サマーコンサート
- ・8月 文化発表会(群馬高専にて)
- ・9月 南大沢文化祭(三井アウトレットパーク多摩南大沢にて)
- ・10月 くぬぎだ祭
- ・11月 チャレンジウオーク

さらに吹奏楽部は皆さまとともに躍進し続けます。

- ・1月 アンサンブル・ウィンターコンサート
- ・3月10日 第42回定期演奏会(ひの煉瓦ホール・日野市民会館)
- ・次回の卒業式と入学式 これからも吹奏楽部は、学内の皆さまはもちろんのこと学外の皆さまとも交流をして、活動の場を広げ続けて参ります。今後とも吹奏楽部の活動に、ご理解とご協力、そしてご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



文化発表会での合同演奏会の練習風景

### ● サッカー部

部長 時谷航太(4C)

日頃よりサッカー部への活動支援をしていただき、誠にありがとうございます。サッカー部は現在部員32名で活動しています。今年の夏の予選では、準決勝で延長戦の末敗れてしまい大会3位という結果でしたが、全国大会レギュレーションにより7年ぶり17回目の全国高専大会への出場を決めることができました。現在12月に行われる全国大会に向け、ライトが無く暗い状態で日々活動しています。後援会費は、全国大会で使用するインナーをメンバー分購入させていただきました。全国大会で良い結果を残せるよう全力で戦ってきます。これからも応援、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



全国大会予選後のメンバー集合写真  
(栃木県総合運動公園)



## ● 卓球部

部長 樋口大生(3M)

卓球部では、支給された後援会費を日本卓球協会の選手登録費、高体連のチーム登録費、高体連主催の大会参加費などに使用させていただきました。また、後援会からは高専大会の補助もしていただき、高専大会では女子部員がシングルス第3位、ダブルス優勝という結果を残すことができました。私たち卓球部は東京都の高体連に加盟し、高体連主催の大会に出場しています。これからも、より多くの大会に参加し、部活動を充実したものにするためご支援いただけると幸いです。

## ● ジャグリング部

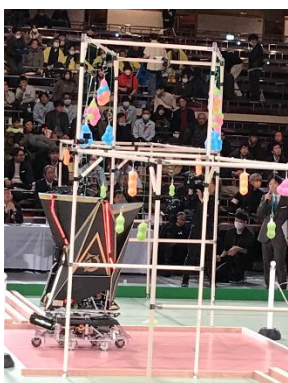
部長 野々部咲月(3E)

ジャグリング部は後援会からのご支援のもと、8月に群馬高専にて開催された文化発表会に参加しました。文化祭以外の発表の機会はなかなかないため、貴重な経験となりました。また、今年度は1、2年生が多く入部したため、各部員が取り組みたいジャグリング道具を追加で購入させていただきました。

今後もオープンキャンパスや文化祭で、舞台発表とジャグリング教室を行う予定です。機会があれば、ぜひジャグリング部の発表をご覧ください。

## ● ロボコンゼミ

顧問 富沢哲雄(M)



「木の実」をとるロボット

今年のテーマは「もぎもぎ！フルーツ GO ラウンド」。フィールドの中で障害物を避けながら移動し、独自に工夫した道具を使って高所のボールを収穫するという競技でした。本校からは東京 A「木ノ実ヤグラ」と東京 B「SøPNIR」の2台のロボットが参加しました。東京 Bは全国に進出しましたが初戦で惜敗。学生たちは、国技館で勝つにはもう一段階高いレベルが求められるということを痛感したようです。来年こそ全国で勝利をつかめるよう励みますので、引き続きご支援のほどをよろしくお願いいたします。

ゼミリーダー 武田和久(4J)

日頃よりロボコンゼミの活動にご理解をいただきましてありがとうございます。コロナウイルスによる厳しい状況を耐え、ロボコンに打ち込んできた3年生がチームを引っ張り、昨年度の関東春ロボコンから一気に成長した2年生とともに、18年ぶりとなる3年連続全国大会出場を成し遂げたこと、ゼミリーダーとして非常に嬉しいものがあり、国技館を出た後思わず涙を流してしまいました。今年の悔しさをバネに再び全国の壁に立ち向かっていく選手達へ、これからも熱い応援をお願いいたします。



ロボットの動きを確認

## 後援会の活動報告

後援会活動につきましては、後援会ホームページにて随時公開・報告しています。後援会ホームページをご確認ください。

<https://nittcs.org/>

## 今後の予定

◆ 後援会の次年度活動に向けて、理事の登録・運営委員の立候補を受け付けています。理事・運営委員について、くわしくは後援会リーフレットをご参照ください。

◆ 5月中旬に総会のご案内が郵送にてお手元に届きます。内容をご確認の上、出欠(欠席の場合は委任先)をご連絡ください。

### 2024年予定

3月	16日(土)	卒業式・卒業祝賀会
4月	5日(金)	入学式(予定)
	19日(金)	2024年度の理事登録・運営委員立候補締め切り
	20日(土)	後援会 理事会
5月	25日(土)	後援会 総会

### ■お問い合わせ先■

問合せフォーム: <https://nittcs.org/page-110/>  
東京高専後援会事務局: 042-668-5130

### ■後援会 HP■

東京高専後援会 Web サイト  
<https://nittcs.org/>

